

保健室コンピュータ活用グループ研究会

グループ員：松田 弥生 (伊丹小学校) 中谷 孝子 (緑丘小学校)
 大森 明美 (笹原小学校) 篠崎 葉子 (瑞穂小学校)
 升井 嘉澄 (花里小学校) 片山 美奈 (昆陽里小学校)
 大西 郁美 (鴻池小学校) 田中 淑子 (北中学校)

担当指導主事：水津 和雅

キーワード：保健室 表計算ソフトの活用 データ管理 保健指導 健康管理

1 研究テーマ

「保健室におけるコンピュータの活用について」

2 研究内容

昨年度に引き続き、コンピュータ(表計算ソフト)を活用して、保健に関する事務処理を行うことにより、保健室の来室児童生徒にゆとりを持って関わる時間の確保及びデータの効率的な活用に取り組んでいる。

今年度も総合教育センター情報化推進員の全面協力のもと、日本成長学会データ取り込みシートのバージョンアップ、また、児童個人に配付する「定期健康診断結果のお知らせ」を利用できるように、入力の方法などの研修を行った。今年度の研究内容は以下のとおりである。

- (1) 低身長・肥満度シートの改訂と操作方法の習得関数を自動作成するサポートツールの操作手順など(図1)をまとめた。
- (2) 「定期健康診断結果のお知らせ」(図2)の検討及び入力方法を習得した。
- (3) 健診結果管理ファイルの不具合の修正をはじめ、Excelにおけるマクロの作成手順の指導を受け、マクロの機能について学んだ。

(図1)



(図2)



3 成果と課題

(1) 成果

- ① 低身長・肥満度シートについて、複雑な関数入力がなくなり、事務処理の効率化が図れた。また、より見やすい形になったことにより、低身長や肥満傾向の児童生徒の早期発見や、該当児童生徒の健康相談の資料作成ができるようになった。
- ② 児童の健康管理上の情報(アレルギー・既往歴等)は、総合教育センター情報化推進員の協力により、現在の健診管理シートを活用した形で経年管理できるようになった。

(2) 課題

- ① 昨年度までのシステムより更にデータの活用がしやすいものに改訂されたため、他校でも活用できるよう、マニュアルを作成していく必要がある。
- ② 各校の実態に応じて、健診結果管理ファイルの結果を保健指導につなげ、児童生徒の健康管理を進めていく必要がある。
- ③ 自校で「ほけん室のシステム」を使いこなせるスキルを身に付けていく必要がある。